鶴見緑地等における万博連携事業イベント企画運営等業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1. 案件名称
鶴見緑地等における万博連携事業イベント企画運営等業務委託
契約期間：契約日から令和８年３月 31 日

2. 選定した委託予定事業者
大日本印刷株式会社 左内町営業部

3. 公募期間
令和６年１月 22 日から令和６年２月 22 日まで

4. 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

（１）選定委員名簿（敬称略）

委員氏名	所属・役職等
赤澤　宏樹	兵庫県立大学　自然・環境科学研究所 自然環境系　環境計画研究部門　教授
川口　将武	大阪産業大学　デザイン工学部 建築・環境デザイン学科　准教授
清水　苗穂子	阪南大学　国際観光学部 国際観光学科　教授

（２）選定委員会の開催日
第１回　令和５年 12 月４日
第２回　令和６年２月 29 日

（３）審査基準

審査項目	審査の視点	配点
企画力	・イベントの実施プログラムは、事業の趣旨や目的を十分理解したうえでの企画内容となっているか ・鶴見緑地の特性をふまえた集客力のある企画であることに加え、多様な人々にイベントの参加を通じて、公園の新たな使い方や楽しみ方の発見につながる魅力的なプログラムとなっているか	30 点

	・イベントは万博開催に向けストーリー性のある企画となっており、今後の公園活用に向けた方策等についての検討をしているか	
調整力	・プレーヤー・サポーターの参加者数やマッチング成立数の増加、公園活用プログラムの高質化につながる支援内容となっているか ・最新技術の試行を実施する企業等の募集・調整手法は、より多くの企業等に参加いただけるような工夫がなされているか ・関連イベントの実現に向け関係先が多岐にわたるため、柔軟に調整できる体制となっているか	30 点
運営力	・イベント開催に向けて、事前の関係先との調整を見据えた実現性のあるスケジュールとなっているか ・イベント開催における会場運営、安全対策等を確実に遂行できる体制、計画となっているか	20 点
情報発信力	・SNS の活用やウェブサイトの充実など、ターゲットをふまえた多様な手法により多くの集客につながる効果的な広報計画となっているか ・話題性のあるイベントとなるための広報展開の工夫がなされているか	20 点
合　　計		100 点

（4）審査を行った事業者（五十音順）

・株式会社近鉄アド近鉄

・株式会社産業経済新聞社大阪メディア営業局・中央復建コンサルタンツ株式会社共同企業体

・大日本印刷株式会社 左内町営業部

・博報堂プロダクツ、ヴァリアス・ディメンションズ共同事業体

全4者

（５）審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

審査項目	A 社	B 社	C 社	D 社
企画力	64	64	59	55
調整力	65	63	63	55
運営力	46	44	44	38
情報発信力	45	42	40	38
合　　計	220	213	206	186

（６）選定結果

上記のとおり提案者は 4 者であり、審査の結果、合計点が最も高く、かつ選定委員の評価点の合計が 180 点以上であるため、大日本印刷株式会社 左内町営業部を本事業の委託予定候補者として選定する。

（７）選定理由

- 企画・調整・運営、情報発信の各観点を的確にとらえ、コンセプトからイベント全体にわたり一貫した提案となっている。
- 鶴見緑地の特性を活かした内容となっており、イベント実施に必要な運営体制や今後に向けた効果計測の検討について、しっかり提案されている。
- TEAM EXPO 2025 共創パートナーとの連携の提案が盛り込まれるなど、本イベントと大阪・関西万博との連携が期待できる。

（８）附帯意見

- 令和 7 年度にイベント期間を万博期間中の春と秋の 2 ヵ月間設定している趣旨をふまえ、鶴見緑地に来られた方が楽しめるよう全体スケジュールやイベントプログラムの実施内容をイベント開催日以外の平常時も含めて検討・実施すること。
- 公園版未来社会といった事業趣旨をしっかりふまえ、イベント後の公園での展開を模索した取組を実施すること
- 企業や市民のマッチングを通して、地域住民や地元企業等とも連携し、今後の公園の活用をみすえた新たな仕組みを模索のうえ実装すること。
- 上記以外にも、本事業において求めていることについては、本市と協議のうえ仕様書等を作成し、事業実施に繋げること。